

予算委員会

ロングステイ推進事業費について

「第5次勝山市総合計画（改訂版）」のスタートの年で、人口減少・緩和問題は喫緊の課題であり、重要施策に移住定住関連の新規事業を8事業掲げています。

そんな中、県の「ふるさと創造プロジェクト」事業と相まって、勝山市独自の「ロングステイ推進事業」に県の補助金も頂き、225万円が補正予算に計上されました。主に、広報のための映像制作業務に充てられます。

委員からは、「広報も大事だが、まずは受け入れ態勢をしっかりとすることが重要である」、「登録済みの空き家の利活用や空き家登録の簡素化など勝山市民・地元の者が移住者に対して受け入れやすい環境を整えるのが肝要である」等の意見が出されました。理事者も十分認識しており、「前向きに検討する」と答弁がありました。

ふるさと勝山移住定住促進事業費について

今年度、行政組織機構の一部改編によって、商工観光部に「ふるさと創生・移住課」が新しく設置され、移住・定住を全庁あげて促進していくこうとスタートしました。

6月定例会では、移住相談のために、地元産木材を使った相談室整備に、県の「新ふるさと創造」推進事業」の支援を受け、補正予算181万2,000円（県90万6,000円、市90万6,000円）が計上されました。

中部縦貫自動車道の通行料金について

7月8日（土）に中部縦貫自動車道永平寺大野道路開通式典が行われ、福井北インターチェンジから大野インターチェンジまで通行が可能となりました。中部縦貫自動車道の全線開通に向け、また一歩進むこととなります。このことに関連して委員から、「中部縦貫自動車道は全線開通後も無料で利用できる」と聞いているが間違いはないか」との質問が出ました。

理事者からは「平成17年2月28日に開催された日本道路公団の事業評価監視委員会において、道路管理者への譲渡等一般有料道路事業の見直しについて検討が行われ、中部地方整備局は油坂峠道路を無料開放することを決定した。

この事により、油坂峠道路を含む中部縦貫自動車道「福井北ジャンクション・福井北インターチェンジから白鳥ジャンクション・白鳥インターチェンジ」区間は国が直轄で整備し、維持管理を行っていることから、全線開通後も無料開放と聞いている」と油坂峠道路無料化の経緯を含む説明がありました。

総務文教厚生委員会

■今定例会の審議結果

審査の結果、議案1件を可決しました。陳情1件については、不採択としました。

奥越二次医療圏の存続について

平成25年3月に策定された第6次福井県医療計画で、奥越・丹南圏域が二次医療圏の見直しの対象になりましたが、今年度、第7次福井県医療計画策定の年となっており、「奥越」は今回も二次医療圏としての見直しの対象に上がっています。

この見直しによって、奥越圏域の病床数が調整されて減少するようなことになると、大野勝山両市の医療の確保だけでなく、市民生活にも重大な影響を与えます。

勝山市としては、今後県に対しては重要要望事項として奥越二次医療圏の存続を要望し、市民には広報を通じて奥越二次医療圏の現状について周知していきたいとしています。

委員からは「流出率が改善された原因は何か」「福井勝山総合病院を残すには大野市への働きかけが必要だ」といった質問や意見がありました。

理事者からは、「前回、奥越二次医療圏存続のため、地元かかりつけ医への受診をPRしたことが、市民の皆さんのご理解を頂けたことなどが考えられる」「大野市へはあらゆる方面から働きかけを行っていく」と答弁がありました。

バス利用のまちづくり 便利！安い！元氣！

7月から勝山市内の「バス&時刻表&乗り換え検索アプリ（NAVITIME）」が、スマートフォン、タブレット、パソコンなどの通信端末で利用できるようになりました。

これまで市民の方から「バスは運行時間や乗り継ぎが分からないので不便」との声がありました。このアプリでは、指定地周辺のバス停を地図上に表示してバスの系統・行先・時刻表が表示され、出発・到着のバス停を指定するとバスと徒歩を利用した最適なルートの手探しができます。

また、市では生活でよく利用する施設までの個人の時刻表を作成します。委員会では「バスの利用促進のため、ふれあいサロンなどで講習会を実施したらどうか」「一日フリーパス券の導入で安い料金で、どんどん出かける元気なまちづくりに生かせないか」などの提案が出されました。理事者は「今後の利用状況を把握して、路線や料金なども検討したい」としています。

重文旧木下家住宅組立工事 請負契約の変更について

「重文旧木下家住宅組立工事」は、現在建物の骨組みを持ち上げ、柱の根元を修理中で、今後ウマヤ等の基礎を補強した後、骨組みを下して修理した部材を組み上げ、秋頃には、屋根の茅葺きを開始する予定になっています。さらに今回文化庁との協議が整って、